

たばこについての『うそ』・『ほんと』…4つの質問について考えてみて下さいね

♪ たばこについての『うそ』・『ほんと』…4つの質問 ♪

- その1 世界の死亡順位の第1位は「たばこが原因でおこる病気」???
- その2 ハワイ州では、レストランは禁煙である???
- その3 お母さんがたばこを吸うと、たばこの有害物質が母乳に混じる???
- その4 たばこを吸うと、歯が抜けやすくなる???

さて、いくつ、きみは正解できたかな？ 正解を見てみよう！

質問その1 答えは・・・「うそ」

 世界の死亡順位の第1位は「**飢えと栄養不足**」です。

 「たばこが原因で起こる病気」の死亡順位は第2位です。

死亡順位は2位ですが ↓

その数、なんと、年間**480万人**！
～WHO(世界保健機構)のデータ 2000～

毎年ノルウェーの人口に相当する数の人々が亡くなっています



質問その2 答えは・・・「ほんと」

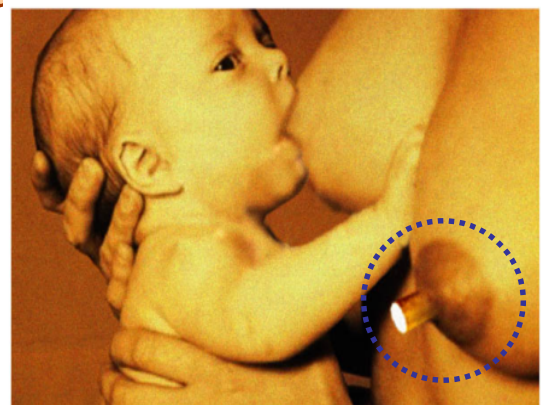
2006年11月16日からハワイ州では**レストラン**など、たくさんの人が利用する場所は「**禁煙**」になりました。違反した人は最大で**50ドルの罰金**（だいたい5700円くらい）を、はらわなければなりません。



日本の「たばこが原因とされる死亡数」は、11万4千人(2000年)といわれています(WHOのデータ)。今から20年前にくらべると、たばこが原因で死亡する人が約2倍になっています。日本においては、これからもたばこが原因で死亡する人は増加(ぞうか)する傾向(けいこう)にあります。

アメリカでは、禁煙(きんえん)の法律(ほうりつ)があちこちの州(しゅう)で成立し、全米(ぜんべい)の約50.2%の人が受動喫煙(じゅどうきつえん)から守られるようになりました。そしてアメリカ人の喫煙率(きつえんりつ)は42%(1965年)から21%(2005年)となり、40年前とくらべて半分に減(へ)りました。その結果(けっか)、2年連続(れんぞく)で、がんて死亡する人が減ってきています。アメリカでは、たばこ対策(たいさく)の効果(こうか)が、着実にあらわれてきています。

質問その3 答えは・・・「ほんと」

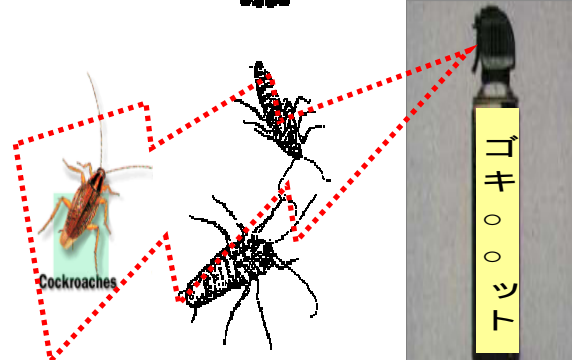


KOURENI BEHEM TEHOTENSTVI A KOJENI VAZNE POSKOZUJE ZDRAVI DITETE

「お母さんがたばこを吸っていると赤ちゃんもたばこを吸っているのと同じです」と外国のポスターは伝えています。たばこを吸うとからだの中にニコチンという猛毒(もうどく)が入りこみます。ニコチンは、右上のスライドにあるように、ゴキブリを殺(ころ)す薬の成分として使われている猛毒です。お母さんがたばこを吸い赤ちゃんに母乳を与えると母乳の中にニコチンがまじり、赤ちゃんがそれをのんでしまうことになります。その結果、赤ちゃんは「ぐっすり眠(ねむ)れない、下痢(げり)をする、吐(は)く」などの病気で苦しむことになります。

「ニコチン」って、実は「こんなもの」です。

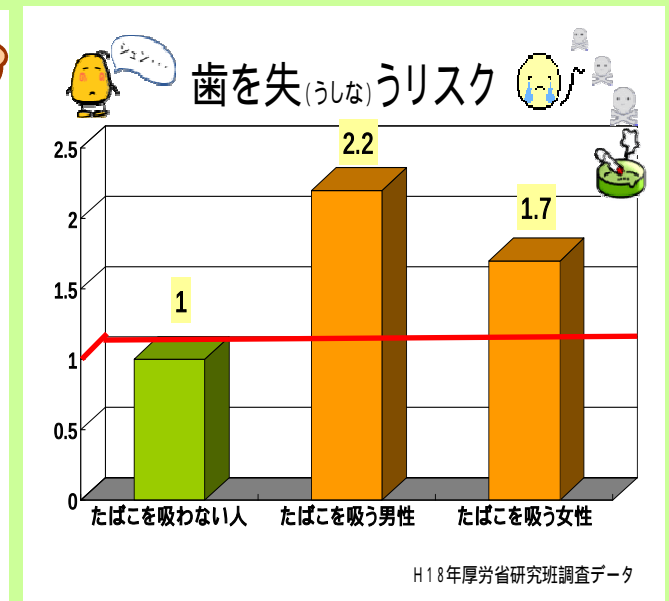
ニコチンはゴキブリの殺虫剤(さっちゅうざい)の成分(せいぶん)として使われている毒物(どくぶつ)です！



質問その4 答えは・・・「ほんと」



この男性は15才からたばこを吸い始め、40才では1日80本のたばこを吸っていました。その結果(けっか)、40才で、歯が全部(ぜんぶ)ぬけてしまいました。



たばこを吸う人は吸わない人にくらべて、歯を失うリスクが約2倍高くなるという調査結果がでました。また、歯を失う本数が多いこともわかりました。たばこを吸わない人は、60才以上の男性で18.5本の歯が残(のこ)っていましたが、たばこを吸う人では14.1本しか残っていませんでした。たばこを吸うと歯周病(ししゅうびょう)になりやすく、写真のように歯がぐらぐらになり、ポロリと歯がぬけてしまうのです。

